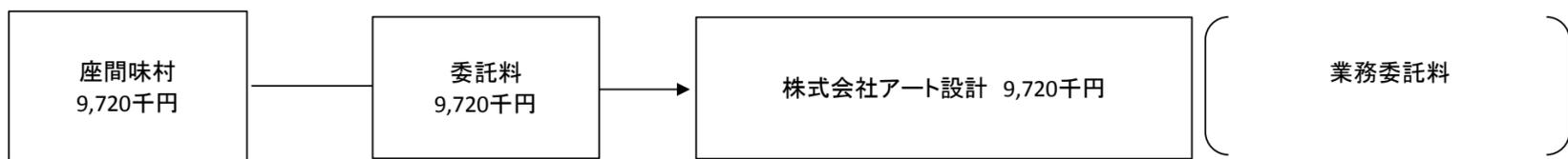


市町村名	座間味村						
<b>平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート</b>							
事業名	座間味村観光産業等新規就業者定住型住宅確保事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	総務福祉課、産業振興課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和元年度				
事業内容	観光業への新規就業を受け入れ、定住促進を図るため、移住者を受け入れる住宅を整備する。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)			10,325			
				10,325			
			0	10,325			
	B. 執行済額			9,720			
	うち補助金充当額			7,776			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)			94.1%			
予算の状況の説明		定住促進住宅(2階建て6世帯)の実施設計を行った。不用額346千円は、入札の残額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	実施設計の完了		目標 ( )	( 実施設計完了 )	( )	( )	
			実績	実施設計完了			
			目標 ( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	平成31年1月に実施設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	若者(40歳未満)の定住住宅への入居世帯数		目標	( - )	( - )	( )	( 6世帯 )
			実績	-	-		-
	成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
			目標	( )	( )	( )	( )
		実績				-	
進捗状況説明	令和元年度に供用を開始し、6世帯入居することを見込んでいる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>離島の建築工事は、落札率が悪いので、工事発注方法、発注時期等に留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設資材や建設労働者等の確保を円滑に行えるよう余裕期間制度を活用するなど、適切に工期を設定する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度中に整備を完了させるため、離島であるが故の諸般の課題に対応できるよう、各種制度の活用や適切な進捗管理を行う。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
9,720	9,720	7,776	1,944	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業務委託は、指名競争入札により契約した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・事業費については、3社からの見積りを基に積算するなど妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、用途については、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、事業検収時に確認されている。